



高島屋宣伝部  
時代の名作！  
斬新な図案が、  
今でも目を  
くぎ付けに！

高島屋大阪店  
なんばダイニングメゾン9階  
エキウエ  
ミュージアム  
NAMBA  
DINING MAISON  
なんばダイニングメゾン

気軽に芸術作品にふれられる  
アートスペース  
「エキウエミュージアム」。  
高島屋史料館の所蔵作品を  
ご紹介していきます。  
お食事と共にお楽しみ  
ください。

# 高岡徳太郎展

■2月5日(木)→4月5日(日)■なんばダイニングメゾン9階  
〈入場無料〉



このポスターはパネルでご覧いただけます

〈左〉福の神大展覽会ポスター  
(昭和6年)

〈右〉日光博覧会ポスター  
(昭和2年)

高岡徳太郎とポスター

徳太郎は、高島屋宣伝部在籍中に  
たくさんのポスター原画を制作。  
高島屋史料館には、数多くのポス  
ターが所蔵されています。ひと目  
で徳太郎の原画と判るほどユニ  
ークなものも多く、今も高く評価  
されています。そうしたポスターの  
ひとつ「日光博覧会」は、昭和2年  
長畑店にて開催され、大変な人気  
を呼び、一日の入場客が20万人  
を超え、長蛇の列ができるほどで  
した。

オリジナル  
メモ帳を  
プレゼント！  
先着  
800名様

期間中、9階ローズダイニング  
にて「ローズダイニングセット」  
2,052円(税込)をご注文いた  
だいた方、先着800名様に  
「オリジナルメモ帳」をプレゼント  
いたします。



ローズダイニングセット



# 高岡徳太郎展

■2月5日(木)→4月5日(日) **〈入場無料〉**  
■なんばダイニングメゾン9階

徳太郎は、高島屋と最もゆかりの深い洋画家のひとりで、大正12年、中学校の先輩である飯田慶三(後の高島屋社長)の紹介で、大阪高島屋の宣伝部に入社、昭和6年まで在籍。その頃から、二科会を舞台に活動し、昭和30年には「一陽会」を旗揚げしました。昭和29年、(株)ノバ・マネキンを創業。高島屋のマスコット人形の〈ローズちゃん〉は、徳太郎の発案により、ノバ・マネキンが製作。現在も、みなさまに愛され続けています。今回、高島屋史料館所蔵の洋画のほか、徳太郎が高島屋宣伝部時代に関わったポスターなども展示し、その足跡をたどります。



1

高島屋の包装紙のバラはもちろん、食堂にも大輪を咲かせました。



2



3

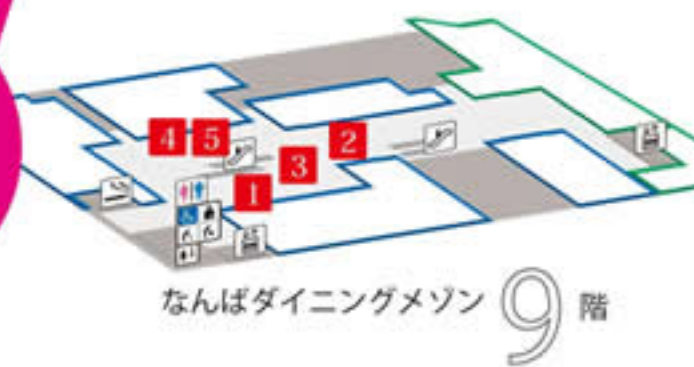


4



5

大阪・堺育ちで、海が大好き。飯田先輩とは、全国へ写生旅行に。



なんばダイニングメゾン 9階

## 1 薔薇 (制作年未詳)

### 「ばら」と徳太郎

高島屋は、昭和27年に「バラ」をシンボルフラワーに採用しました。徳太郎は、昭和55年から平成19年まで使われた包装紙の原画を揮毫したほか、大阪店の特別食堂「ローズルーム」を飾った大作「ばら」も制作しました。

## 2 飯田忠三郎氏肖像 (昭和30年以降)

### 徳太郎の肖像画

風景画を得意とした徳太郎ですが、福田超夫元首相や作曲家の遠藤実など意外にも多くの著名人の肖像画を描いています。飯田忠三郎は高島屋の元副社長、故人となってからの作品です。

## 3 巴里 (昭和9年)

### パリ留学

徳太郎は、昭和9年から10年にかけてパリに留学。滞在中はルーブル美術館へ名画の模写に通ったり、風景の写生をするなど、貪欲に絵画の修行を行いました。

## 4 梅雨の海 (制作年未詳)

### 海が大好き

徳太郎が育った堺の町は、白砂青松の美しい海岸がありました。それで徳太郎は海が大好きで東京に移転後も伊豆の海岸や犬吠埼へよく写生に出かけました。

## 5 高千穂の峯を望む (昭和15年)

### 高千穂の峯

洋画を双幅や屏風絵のように複数の絵を一つの作品に仕上げることは珍しい。額の内側に一つの棧を通すことで、部屋の窓から眺めているような雰囲気を出そうとしているのだろうか？

なんば/  
高島屋7・8・9F  
レストラン 夜11時まで

NAMBA  
DINING MAISON

なんばダイニングメゾン

インフォメーションダイヤル:06-6633-1244  
(10:00~21:00)